

保護者の皆様

開成町立開成小学校長

1 学期をふりかえって

1. 「おはなしルーム」の設置

今年度から、児童がスクールカウンセラー（以後 SC）に自由に相談できる「おはなしルーム」を設置しました。毎週木曜日の昼休み（長昼休み）に、保健室に SC がいます。これまでは、養護教諭に聞いてもらいたく保健室を訪れていた子たちが、少しずつ SC に話すようになってきています。

学校の中で担任以外の大人に相談できることは、大切なことだと考えています。

2 学期以降も続けていきます。

2. 適切な距離感を

コロナ禍に途絶えていた、異学年交流が本格的に動き出しています。上級生が下級生の面倒を見たり、一緒に遊んだりしています。しかし、一方で少し困ったことも起きました。下級生が、過度に上級生の身体を触ることがありました。上級生も自分に慕ってくれる下級生にどう伝えたらよいか困ってしまったようです。

このような話の際、子どもたちには、「下着や水着で隠す部分は、他人に見られたり触られたりするの嫌なこと。だから、触ったり、見たりしません。（女子の水着は、ワンピースタイプで考えていただけると幸いです。）」と伝えるようにしています。また、登下校時の洋服も同じように考え、ご家庭でお話をされる際の参考にしてみてください。

3. アツイ夏だからこそ、親子で『アツイコミュニケーション』を。

21日（日）から長い夏休みが始まります。家庭で過ごす時間が増えますが、ぜひ、2 学期の学校生活へスムーズにつなげることを念頭に置いて、「①生活リズムを崩さない、②デジタルツール（例：テレビ・ゲーム・スマートフォン等）漬けにならない、③デジタルツールの約束をしっかりと守る」、の3つを意識して過ごしてほしいと思います。

普段はゆっくり話す時間がなかなかもてないご家庭もあるかと思いますが、ぜひ、お子さんの顔を見て、どんな表情をしながら話すのか、どんなことを考えるように成長したのか、お子さんとの時間を大切にしてください。子どもたちは日々成長していくので、時間を戻すことができません。

非日常的体験だけでなく、お子さんと日常生活の家庭の仕事を一緒にやったり、任せてみたりしてみてください。大人から見たら当たり前のことでも、できたら「ありがとう」と声をかけてください。「ありがとう」を言う場面がないと思う場合は、その種まきをおうちの方がしてみてください。（例：食後の食器を下げる、お風呂洗いをする、洗濯物をたたむ、買い物の荷物を運ぶ等）そして、大人もお子さんとの間に、間違いなどがあつたら「ごめんね」と伝えてください。

子どもたちは、身近な大人の姿を見て、真似して育っていきます。身近な大人からの「ありがとう」、「ごめんね」が、子どもたちを育てていきます。特に、「ありがとう」は、子どもたちの自己肯定感を高め、いろいろなことへ挑戦してみようとする意欲にもつながります。

夏休み明け後、ホクホクと温かい表情に満ちた子どもたちに会えることを楽しみにしています。

おはなしルーム



あ 開いている日 ひ まいしゅうもくようび
毎週木曜日

13:00~13:30

スクールカウンセラー

だんばら よしえ せんせい
檀原 由江先生がいます。

↑保健室入口にかけている案内表示です。

問い合わせ先

担当 教育相談コーディネーター香川

電話 83-1616